

御嶽山噴火災害物故者追悼之文

敬つて真言教主大日如来 両部界會諸聖衆 別しては三回忌本尊 阿弥陀如来 並に宗祖 弘法大師 総じては盡空法界一切三寶の境界に白し
て言さく

平成二十六年九月二十七日 午前十一時五十二分に発生せし有史以来の御嶽山大噴火は登山者を一瞬にして襲い戦後最悪の火山災害となれり
これによる物故者は五十八名 行方不明者は五名に及ぶ

災害より二年を経たる今も尚物故者の御遺族 行方不明者を案ずる方々の心情 察するに余りあり

噴煙絶えぬ本日此処に 被災物故者を慰霊せんが為 真言宗智山派長野南部北部青年会会員と共に追福修善の梵筵を延ぶ

二年の歲月 幻の如くして宴に迅し されど甚大なる被害は夢の如くにして夢に非ず

この深き哀しみと苦悩をば 誰をか頼りに救済せん

歌人 税所篤子は「峯つづき 花より花に遊びけり 待つらん親の心知らず
に 峯つづき 花より花に遊びけり 待つらん親の心知らず」と親心を歌う

願わくは 物故者精霊 速やかにその遊びを終え 峯々から降り 帰りを心より待つ温かき親族縁者の元へ戻り 三回忌守り本尊阿弥陀如来の恩慈悲に包まれ 密厳浄土の蓮台へ登られんことを

此処に 被災者物故者三回忌供養の為 阿弥陀如来の真言陀羅尼を唱え般若の妙典を諷誦し供養せんとす

重ねて乞う 本尊大日如来並びに阿弥陀如来 廣大無辺に大慈悲を廻らし

行方不明者早期発見 鎮護国土 被災地安穩 被災者健祥

雨風順時 世界平和 万民和樂 ならしめんことを

乃至法界 平等利益

惟時平成二十八年九月二十六日

長野南部教区智山青年会 会長